

都市再生整備計画(第5回変更)

いまよう そうかしゆくちく
今様・草加宿地区

埼玉県 そうかし
草加市

平成21年 3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(日常的に賑わいが創出でき、災害時にも利用できる交流・防災拠点の形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 綾瀬川左岸地区において、河川管理者との連携による河川環境を活かした賑わいの交流拠点を創出するとともに、災害時には防災機能を備えた広場公園を整備する。 公園整備に先立ち、綾瀬川左岸護岸を植栽(シバザクラ)し、市民や観光客の誘致のきっかけづくりを行う。 来訪者の誘導のために、旧町地区や路地、草加松原ゾーンに案内の道しるべを設置する。 	<p>地域生活基盤施設(基幹事業/広場公園)、地域生活基盤施設(基幹事業/道しるべ設置)、地域創造支援事業(提案事業/マップ作成)、事業活用調査(提案事業/綾瀬川左岸地区基本計画策定調査)、まちづくり活動推進事業(提案事業/ライトアップ事業)、綾瀬川左岸護岸植栽(関連事業)</p>
<p>整備方針2(歴史を感じる安全で快適な道づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草加駅から旧街道や草加松原ゾーンへの回遊性をもった快適な散策路を整備する。また、スポットに来訪者の休憩や交流のための街角スペースを確保する。 土蔵等の歴史的建物を修復し、奥の細道や日光街道にちなんだ資料館や物産館として来街者の誘致を図るための建物活用調査を実施し、効果的な活用方法を推進する。 草加せんべいをはじめ、皮革等の地場産業の情報発信や名所・史跡の散策路、せんべい店や個性的な店舗、商店街を紹介した今様・草加宿マップを作成し、集客や賑わいの足がかりとする。 来訪者の誘導のために、旧町地区や路地、草加松原ゾーンに案内の道しるべを設置する。 草加駅東口停車場線の整備完了にあわせ、草加駅前広場をユニバーサルデザインに配慮した安全で快適な歩行空間として整備する。 	<p>道路(基幹事業/歴史散策路整備【電線地中化】)地域生活基盤施設(基幹事業/街角広場、あじさい公園、歴史散策路休憩スポット)、地域生活基盤施設(基幹事業/道しるべ設置)、高質空間形成施設(基幹事業/歴史散策路整備)、高質空間形成施設(基幹事業/草加駅東口駅前広場バリアフリー化整備)、地域創造支援事業(提案事業/マップ作成)、事業活用調査(提案事業/歴史的建造物活用調査)、まちづくり活動推進事業(提案事業/ライトアップ事業)、草加市景観計画・景観条例作成事業(関連事業)</p>
<p>整備方針3(市民意識の醸成と計画策定プロセスへの参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新旧住民と協働して綾瀬川左岸エリアの計画や旧道の街並み空間のあり方等を検討していく中で、市民の草加への愛着や誇りを醸成し、今様・草加宿事業の実現に向けた機運を盛り上げていく。 	<p>事業活用調査(提案事業/綾瀬川左岸地区基本計画策定調査)、草加市景観計画・景観条例作成事業(関連事業)</p>

その他

○地域再生計画の認定

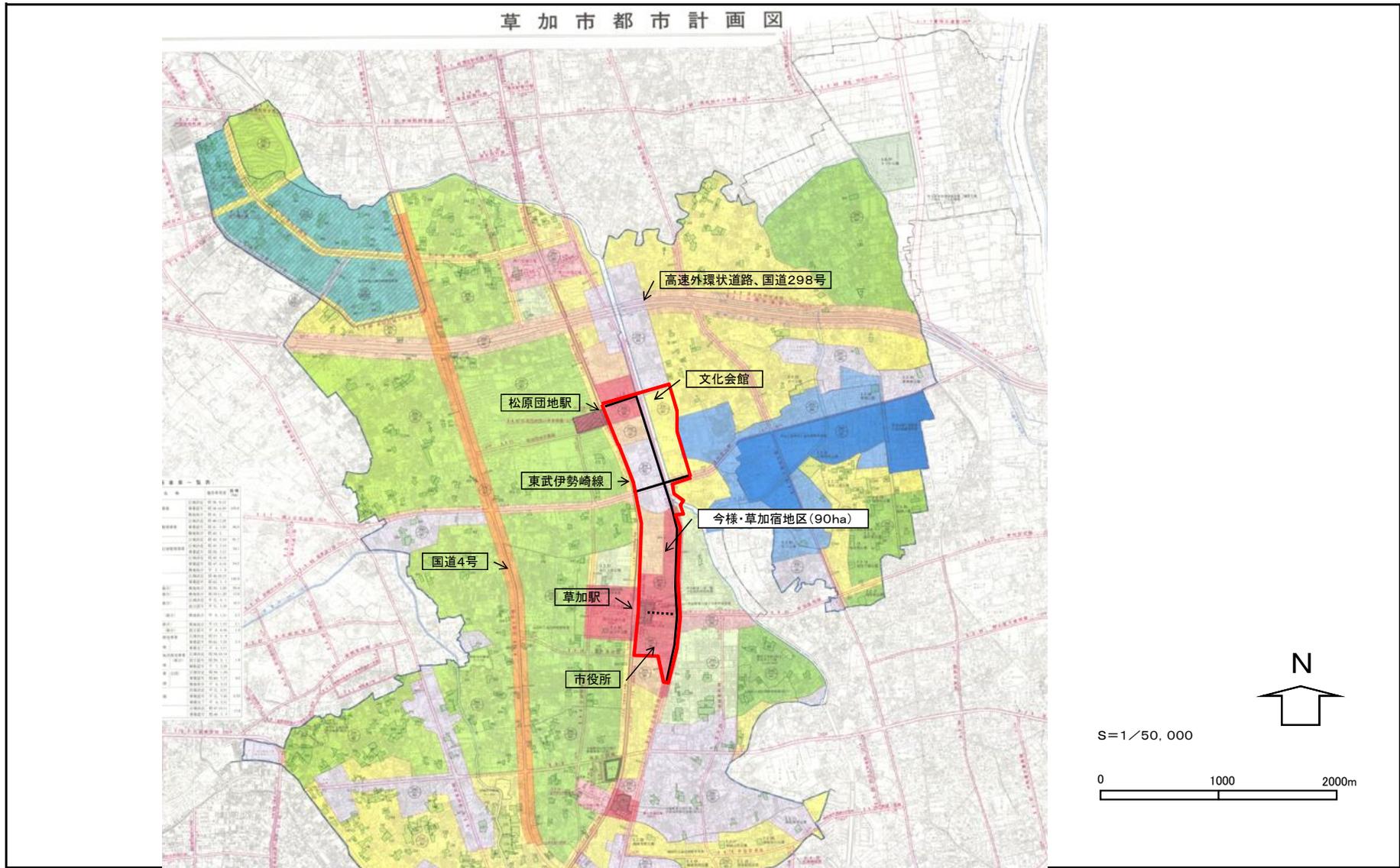
平成16年6月に地域再生計画の認定を受け、同年12月に国や埼玉県、「今様・草加宿」実行委員会役員等で構成する特定地域プロジェクトチームを設置した。現在、このチームから支援を受けて地域再生、活性化のための施策等を検討しており、さらに賑わいのための効果的な整備メニューの充実を図る予定である。

○街並み景観形成の誘導

魅力的な景観の創出に向けて、「今様・草加宿」実行委員会や地域のまちづくり協議会と旧道や綾瀬川左岸地区の街並みや景観誘導のあり方について協議し、地区計画や景観計画を検討していく予定である。

都市再生整備計画の区域

今様・草加宿地区(埼玉県草加市)	面積	90 ha	区域	高砂1丁目の一部、高砂2丁目、住吉1丁目、神明1丁目、神明2丁目の一部、栄町1丁目、栄町2丁目、松江1丁目の一部、松江2丁目の一部、松江3丁目の一部
------------------	----	-------	----	--



今様・草加宿地区(埼玉県草加市) 整備方針概要図

目標	歴史や文化、景観資源を活かした個性と活気にあふれた都市軸の賑わいの創出と魅力ある地域拠点の形成	代表的な指標	来街歩行者数 (人/12h)	256	(16年度)	→	300	(21年度)
			広場公園利用者数 (人/12h)	400	(16年度)	→	500	(21年度)
			満足度(印象) (%)	36	(16年度)	→	43	(21年度)

